

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年7月16日(2024.7.16)

【公開番号】特開2023-79873(P2023-79873A)

【公開日】令和5年6月8日(2023.6.8)

【年通号数】公開公報(特許)2023-106

【出願番号】特願2021-193557(P2021-193557)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/496 (2006.01)

10

A 6 1 F 13/51 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/496 1 0 0

A 6 1 F 13/51

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月5日(2024.7.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 5】

ギャザー不織布62としてはスパンボンド不織布(S S、S S S等)やSMS不織布(SMS、SSMMS等)、メルトローン不織布等の柔軟で均一性・隠蔽性に優れた不織布に、必要に応じてシリコーンなどにより撥水処理を施したものを好適に用いることができ、纖維目付けは10~30 g / m²程度とするのが好ましい。ギャザー弾性部材63としては糸ゴム等を用いることができる。スパンデックス糸ゴムを用いる場合は、太さは470~1240 dtexが好ましく、620~940 dtexがより好ましい。固定時の伸長率は、150~350%が好ましく、200~300%がより好ましい。また、図示のように、二つに折り重ねたギャザー不織布62の間に防水フィルム64を介在させることもでき、この場合には防水フィルム64の存在部分においてギャザー不織布62を部分的に省略することもできるが、製品の外観及び肌触りを布のようにするために、図示例のように、少なくとも起き上がりギャザー60の基端から先端までの外面がギャザー不織布62で形成されていることが必要である。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 4】

40

(外装体の積層構造)

図8及び図9に示すように、ウエスト部Wは、不織布からなる第1シート12S及び不織布からなる第2シート12Hが積層された外側部分18と、この外側部分18から続く第1シート12S及び第2シート12Hがウエスト開口WOの縁Weで内側に折り返され、そのうちの第1シート12Sがウエスト部Wの全体にわたり延びて形成された内側部分19とを有し、内側部分19はホットメルト接着剤HMを介して(溶着でもよい)外側部分18に対して接合されている。図示例では、外側部分18の第1シート12S及び第2シート12Hは、ウエスト部Wからウエスト下方部Uにわたり(図示例の場合、脇周り領域Tの全体にわたり)延びているが、これに限定されず、ウエスト下方部Uを別のシート

50

で形成する等、適宜の変更が可能である。また、図示例では、内側部分 19 の第 2 シート 12H はウエスト部 W における前後方向 LD の中間までしか延びておらず、第 1 シート 12S がウエスト部 W からウエスト下方部 U にかけて延びて、内装体 200 のウエスト開口 WO 側の端部を被覆しているが、これに限定されず、例えば第 1 シート 12S 及び第 2 シート 12H の両方がウエスト下方部 U まで延びていてもよいし、第 1 シート 12S 及び第 2 シート 12H の両方がウエスト部 W 内に収まっていたり、内装体 200 よりもウエスト開口 WO 側までしか延びておらず、内装体 200 の端部を被覆していなかつたりしてもよい。また、第 2 シート 12H は外側部分 18 のみに存在し、内側部分 19 まで延びていなくてもよい。さらに、図示例とは異なり、内側部分 19 を設けなくてもよい。

【手続補正 3】

10

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0077

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0077】

ウエスト下方部 U に設けられるウエスト下方弾性部材 15 は、外側部分 18 から続く第 1 シート 12S と第 2 シート 12H との間に設けられているが、これに限定されるものではなく、他のシート間に設けることもできる。ウエスト下方弾性部材 15 は、図示例では後述の接合位置 80 で溶着により第 1 シート 12S 及び第 2 シート 12H に固定されているが、これに限られずウエスト下方弾性部材 15 の外周面に塗布されたホットメルト接着剤 HM により第 1 シート 12S 及び第 2 シート 12H に固定されていてもよい。ウエスト下方部 U は、自然長の状態ではウエスト下方弾性部材 15 とともに幅方向 WD に収縮して襞が形成されているものの、ウエスト下方弾性部材 15 とともに幅方向 WD に程度伸長した着用状態では襞が広がり、展開状態では完全に襞が無くなるようになっている。

20

30

40

50